

オートレース中期基本方針進捗状況について

1. オートレース中期基本方針 2021年度 [総括]

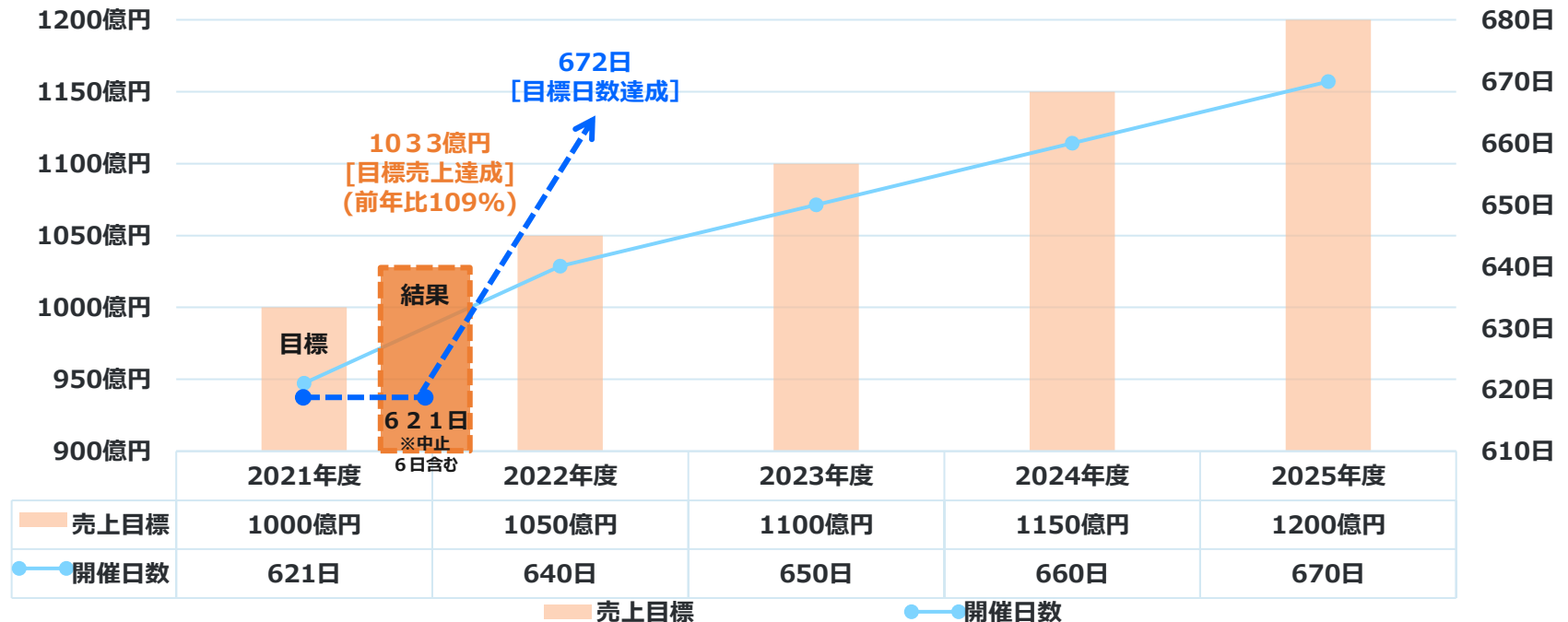
オートレース中期基本方針 目指すべき姿 (目標)

2025年度までに、売上1200億円、施行者営業活動収支18億円を達成

(※数値目標の達成が見込まれる状況となった場合は適宜数値目標の上方修正を行う。)

2021年度の事業トピック

- 2021年度売上は前年度比約109%の**1033億円**、2008年度以来13年ぶりとなる売上**1000億円の回復**。
- 2021年度は**車載カメラ映像オンデマンド配信の試行実施**や、オートレース.JP**投票サイトのリニューアル開発**とともにデジタル戦略を推進。
- 2022年度の開催日数を**672日**で編成。2025年度目標の670日を上回り、中期基本方針の日数目標を達成。



2. オートレース中期基本方針【アクションプランの進捗状況】

オートレース中期基本方針 アクションプランの進捗状況

- オートレースのアクションプランはカテゴリ別に施策が分類され、業界の各団体担当者が連携する形で推進されている。
- 初年度となる2021年度の取り組みは概ね順調に進行しており、各施策の実施効果により目標売上をクリアしている。
- 2022年度もデジタル戦略を中心とした取り組みを行い、中期方針目標である売上1200億円の早期達成に向け各施策を計画に基づき進行する。

効率的な日程編成

2021年度は、発売時間の拡大として、オート空白時間帯に開催する浜松**アーリーレース**を実施。オート界初の**借り上げ施行開催**として、浜松市主催となる山陽場でのミッドナイトの次年度開催を決定した。

2022年度は、ミッドナイト等を増やすことにより、中期基本方針の目標日数の**早期達成**となる**672日**を予定、一部の場において、開催日数は省令上限日数にほぼ到達。開催日数上積み規制緩和を国へ要望。1日の発売時間拡大及び1日のレース数拡大検討を継続。併せて適正選手数及び競走実施執務体制強化を検討する。

競走体系の改善

2021年度は、**新設GⅡ**（オートレースメモリアル）の実施決定。**1日2回乗り**レースの次年度からの実施を決定。7車立て開催、ガールズ戦等企画レースの継続実施を決定。カーボンニュートラルを見据え、競走車環境対策を検討するための専門部会を新設した。

2022年度は、**グレードレースの増設**を検討する。1日2回乗りレースの実施・検証を行い、実施レース数等の**拡大**を検討。企画レースの実施及び新たな企画レースの検討。また、環境に配慮した競走車の調査研究を行う。

選手養成関係

2021年度は、隔年養成から毎年養成への移行を契機に、**養成カリキュラムの刷新**及び**養成所規程の全面改訂**を行った。36期選手候補生入所試験を行い、応募者480名に対し合格者13名を選考した。

2022年度は、候補生の公営競技選手としての品性醸成、精神鍛錬の強化及び走行技術の向上を重視した**新たな養成カリキュラム**に基づく訓練を実施。走行状況の**映像録画装置**の設置等の養成環境改善のための施設改修を実施する。

本場場外の活性化

2021年度は、新型コロナの影響により、場でのリアルイベント実施の機会が限られる中、**WEB**を活用し、専用場外利用者を対象にしたグレードレースの**WEB解説会**を実施。公式ファンクラブ会員限定の選手の魅力を伝える**動画を配信**した。

2022年度は、**リアルとネットを融合**した公式ファンクラブ会員限定コンテンツを拡充し、コロナ禍で実施できていなかった公式ファンクラブ会員の**本場誘因策**を実施予定。また、専用場外活性化策として、複数の専用場外を繋ぐ**WEB解説会**を継続実施する。※新型コロナの感染状況を見ながら実施。

新型コロナ対応

2021年度は、引続き、ガイドライン及び対策要綱に沿って、対策本部の運営により安心して安全な開催を確保するための感染拡大防止策を実施した。選手は健康管理手帳の活用及び定期的なPCR検査実施による健康状態の把握に努めたほか、競走参加選手に感染者が発生した場合は、当該感染者と接触の可能性があった選手に対して**追跡PCR検査**を実施し、後続開催への影響を最小限に止め感染拡大を抑止した。国内の感染状況等を踏まえ、ガイドライン及び対策要綱の改訂による感染対策の強化を図ったほか、全競走場において医師等専門家の協力を得て現地調査を実施し、感染リスクの分析を行った。

2022年度は、各団体においてガイドライン及び対策要綱に沿った運営を徹底するとともに関係者の感染防止に努める。また、国内の感染状況等の変化に応じて、**開催を維持するための対策**を検討し、実行する。

民間事業者との連携

2021年度は、シンクタンク機能強化に資するため、民間事業者のデータを集約し、分析ツール導入について検討を行った。運営面では、施行者と連携し、**新重勝式1社の広告提携サイトの参入を承認**し、民間ポータル各社とは契約面の調整を行った。

2022年度は、民間事業者提供データ解析結果等を基礎資料に**活性化策を策定**するとともに業界へ展開する。また、民間事業者と**販路拡大**等について検討を進め、オートレースの市場拡大に向けた調整を行う。

プロモーション

2021年度は、デジタル戦略を推進するためにターゲット顧客の明確化を目的とする市場調査を実施。2022年度から展開する**オートレースプロモーション戦略**を策定した。その他、ギャンブル依存症対策としての**広告指針策定**、啓発活動を周知徹底し、併せて投票サイトにおける購入限度額設定の対応を行った。

2022年度は、**デジタル戦略を基軸**とした各種施策を前年度に策定した**プロモーション戦略**に基づき展開する。併せて、**WEBを活用**したPRを実施し、**新規顧客との接点拡大**、**既存顧客の育成**及び民間ポータルとの連携を図る。

3. オートレース中期基本方針 [2022年度の方向性 (デジタル戦略の推進)]

2022年度の事業トピック

- 2022年度の売上目標として、中期基本方針に掲げる**1050億円**以上を目指す。
- 更なる売上拡大のため、開催日数に係る規制緩和を要望、1日の発売時間拡大及び1日のレース数増加について検討を行う。
- オートレース.JPサイトの利便性向上を図り（**サイト刷新、決済手段拡大、公式重勝式の開発**）、**公式キャッシュレスの開発、車載カメラ映像配信**等ネットとリアルを融合するデジタル戦略を推進する。

2021年度取り組み

ネット投票刷新

2022.04.02

ネット投票 リニューアル

NEW DESIGN
あたらしいデザイン

あたらしい投票機能
NEW VOTING
FEATURE



- 01 デザインを一新
- 02 必要な情報を一面に
- 03 使いやすいの向上

投票機能: 簡単投票, 競馬発売, 複数種別選択機能, 資金配分機能

車載カメラ オンボード Replay

Auto Race

レーサー目線でオートレースを体験！
オートレースのオンボード映像を配信しよう！

競馬映像再生

2022年度の取り組み

公式キャッシュレス

自宅・外出先からネット投票



本場からネット投票
「キャッシュレスシステム」

公式キャッシュレス導入(本場・場外)

2023年度導入に向け
具体的導入場の決定

公式重勝式

2重勝式選取券

TWO

1・2着の組合せ
2R連続で当てよう!

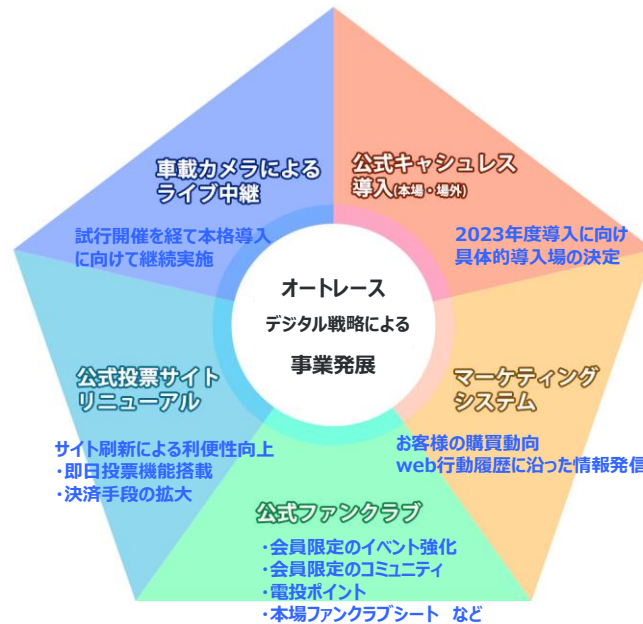
THREE

1・2着の組合せ
3R連続で当てよう!

FOUR

1・2着の組合せ
4R連続で当てよう!

Auto Race TWO		Auto Race TWO		Auto Race TWO		Auto Race TWO		Auto Race TWO		Auto Race TWO	
1R	2R	3R	4R	5R	6R	7R	8R	9R	10R	11R	12R
1・2着	1・2着	1・2着	1・2着	1・2着	1・2着	1・2着	1・2着	1・2着	1・2着	1・2着	1・2着
Auto Race THREE										10-12R	
Auto Race FOUR											
9-12R											



中期基本方針の売上目標 1200億円を早期に達成し、事業の持続的発展に資するとともに、目標額の上積みをも可能とする運営体制の構築を目指す。
売上増進に寄与してきた開催日数増加策は、一部の場が開催日数の上限に達する等、売上増要因が減少した現状に鑑み、
今後はデジタル戦略の推進等による開催1日あたりの売上を引き上げる施策へ重点施策を転換する。

重大事故発生を受けての再発防止策について

川口オートレース場での重大な落車事故

2021年10月30日及び12月3日に川口で発生した2件の競走中の複数車による重大事故を受けて、事故検証会の報告書を基に、「事故再発防止委員会」において検討を行い、今後の競走における安全性の向上を図るための再発防止策4項目「施設・競走車・救護・事故への安全意識の啓発」からなる再発防止策を講じた。

再発防止策

1.施設

緩衝柵の支柱緩衝材をコーナーに限定せず、直線部含む全周に設置。また、緩衝柵の経年劣化を考慮した点検、計画的な更新を行う。

3.救護

救護員の研修機会を定期的に設け、初動対応を迅速かつ適切に行うため、救護のスキルアップを目的とした訓練を行う。

2.競走車

競走スピードについてキャブレター混合気吸入量抑制及びリヤスプロケット歯数変更に係る試作部品を現行競走車に装着し実車走行テストによる検証を行う。

4.安全意識の啓発

各種訓練を通じて、選手に対して事故防止（落車、フライング、周回誤認等）の注意喚起の啓発を行う。



支柱緩衝材の全面設置



競走車部品等によるスピード抑制

浜松オートレース場での重大な落車事故

2022年4月3日に浜松で発生した競走中の救護員の重大事故を受けて、現地確認会を実施し、「救護員安全確保のための緩衝材設置・救護員待機位置の見直し・救護員の教育等」の再発防止策を講じた。

再発防止策

1.救護員安全確保の緩衝材設置

走路内側で待機する救護員の安全確保のため、救護員待機位置に緩衝材となるタイヤバリア等を設置し救護員の安全を確保する。

2.救護員待機位置の見直し

救護員は競走開始時に走路内で待機する際に、走路より5メートル内側まで下がり安全を確保し、全車が通過後に、所定位置につく運用変更。

3.救護員の教育等

救護マニュアルに基づいた救護方法等について、救護員に対し定期的に教育・訓練を行い、再発防止の徹底を図る。



タイヤバリア等の設置



救護員への教育・訓練